

モンゴル経済概況

(2017年1～9月)

2017年12月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治動向①
2. 最近の政治動向②
3. GDP成長率の推移
4. 対外貿易の推移
5. 名目鉱工業生産の伸び率
6. 貨物輸送量
7. 物価(CPI)
8. 歳入・歳出伸び率の推移
9. 貸出残高
10. M2の推移
11. 対ドル・対円の為替レート
12. 外貨準備高
13. 主要輸出入品目
14. 主要輸出相手国
15. 主要輸入相手国
16. 主要国・直接投資残高
17. 主要国・地域別投資企業数
18. 主要業種別投資企業数
19. 日本からの輸入品の販売事例
20. モンゴル企業の動向事例
21. 日本からの直接投資
22. 日本との貿易概況

1. モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：317万7,220人(2017年12月03日現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県、15省

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約4.60円）（2017年12月03日現在）

2.最近の政治動向①

・2017年5月24日、モンゴル政府は財政困難を克服するため、IMFから3億1,450万5,000SDR(約4億3,430万米ドル、クォーターの435%)の拡大信用供与措置(EFF)を受けることを確定した。その後、2017年7月19日から8月2日にかけて行われたIMFによるEFFの第1回の政策評価で好評価を受けていた。

・2017年7月、モンゴルの第5回大統領選挙で与党人民党の党首・国会議長のエンフボルド氏が敗れ、野党・民主党のバートルガ氏が当選(得票率50.6%)した。その後、与党人民党内で選挙結果の責任追及や政策の妥当性を問う声が高まり、エルデネバト内閣は解散に追い込まれた。新首相は、エルデネバト内閣と、その前任のサイハンビレグ内閣で副首相を務めたオフナー・フレルスフ氏(非議員)が10月4日に選出された。

・2017年10月5日、新首相フレルスフ氏は、選出日の翌日にIMFの在モンゴル駐在代表のネール・サケル氏と面会した。その際、フレルスフ首相は、IMFとの協力が経済や財政の建て直しに貢献している点を強調し、EFFの実施を含めてエルデネバト内閣の政策取り組みを維持する意思を表明した。

そして、IMFの専務理事クリスティーヌ・ラガルド氏宛の今後の協力を依頼する公式な手紙をサケル氏に提出した。

2.最近の政治動向②

・2017年10月20日 フレルスフ内閣が発足した。副首相にウルズィーサイハン・エンフトゥブシン氏、内閣官房長官にゴンボジャブ・ザンダンシャタル氏が就任した。内閣閣僚名簿は下表のとおり。

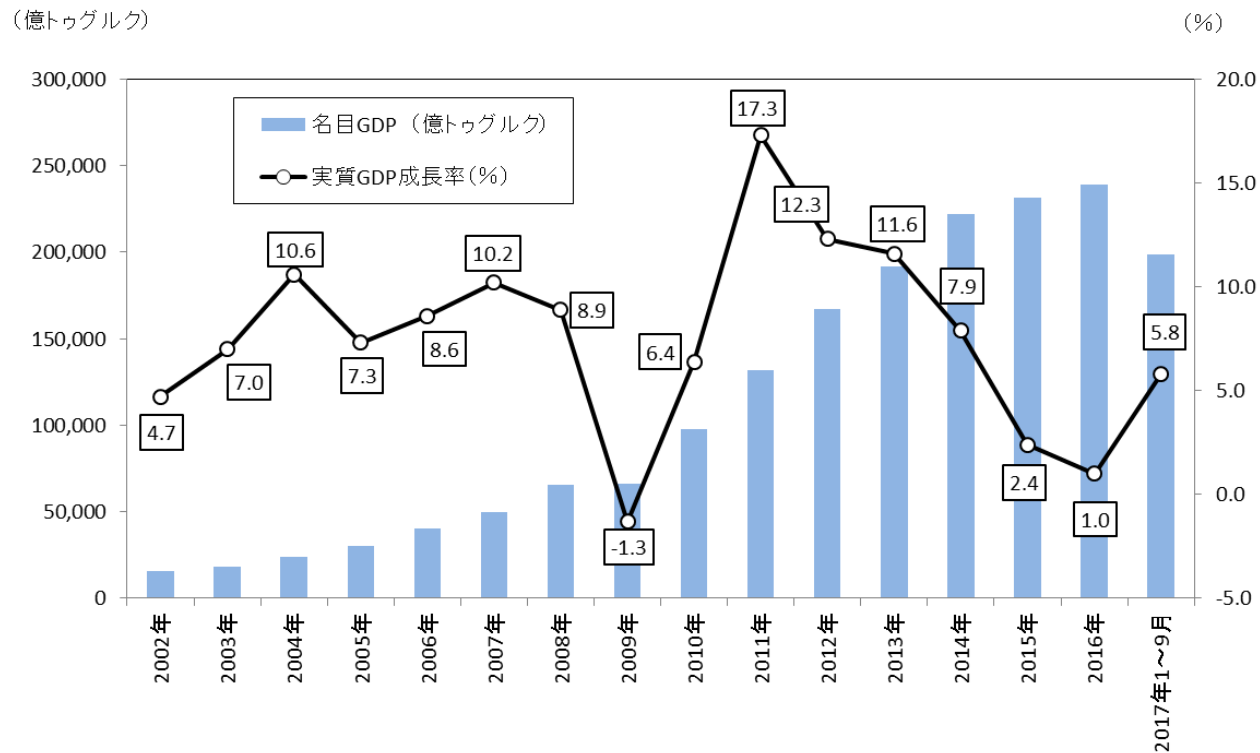
閣僚ポスト(16)	氏名
首相	オフナー・フレルスフ
副首相	ウルズィーサイハン・エンフトゥブシン
内閣官房長官	ゴンボジャブ・ザンダンシャタル
自然環境・観光大臣	ナムスライ・ツェレンバト
国防大臣	ニャマー・エンフボルド
外務大臣	ダムディン・ツォグトバータル
大蔵大臣	チメド・フレルバータル
法務・内務大臣	ツェンド・ニャムドルジ
労働・社会保障大臣	ソドノム・チンゾリグ
建設・都市計画大臣	ハブディスラム・バデルハン

閣僚ポスト(16)	氏名
教育・文化・科学・スポーツ大臣	ツェデンバル・ツォグゾルマー
道路・運輸開発大臣	ジャダンバ・バトエルデネ
鉱業・重工業大臣	ドルゴルスレン・ソミヤバザル
食糧・農牧業・軽工業大臣	バトジャルガル・バトゾリグ
エネルギー大臣	ツェレンピル・ダワースレン
保健大臣	ダワージャンツァン・サランゲレル

出所：在モンゴル日本国大使館

3.GDP成長率の推移

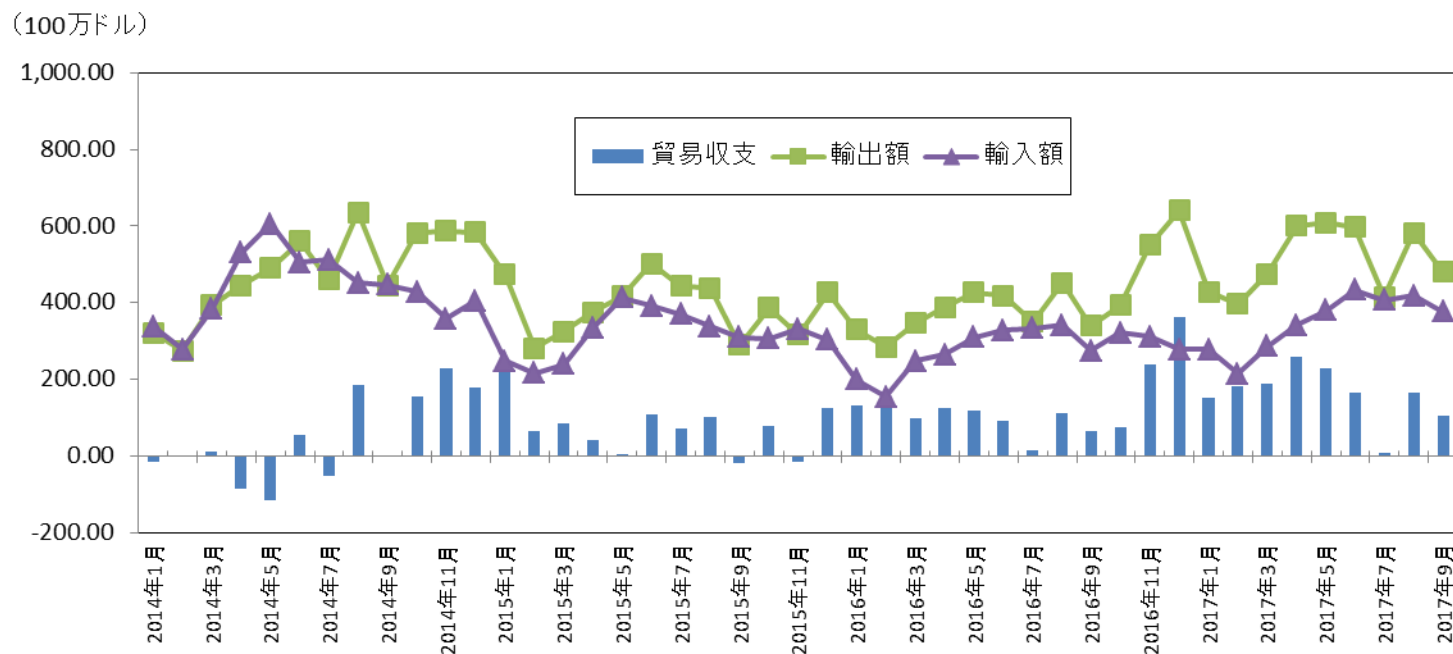
2017年1～9月における実質GDP成長率は5.8%で、前年同年比4.8ポイント増加した。
名目GDPは19兆8,751億トウグルクだった。



注: 2017年1～9月は速報値
出所: 国家統計局

4. 対外貿易の推移

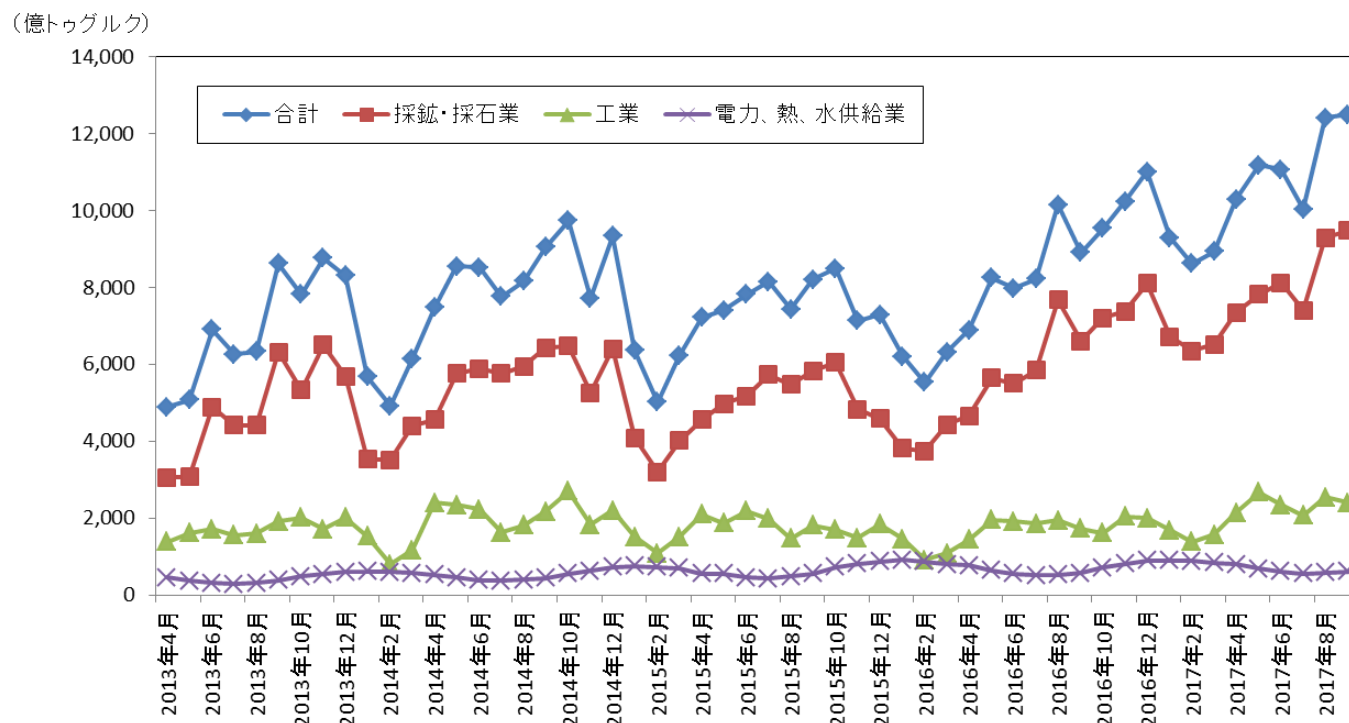
2017年1～9月における貿易総額は、前年同期比約19億ドル(33.4%)増の77億ドルに達した。
貿易総額のうち、輸出額は37.5%増の46億ドル、輸入額は27.9%増の31億ドルとなった。



出所: 国家統計局

5. 名目鉱工業生産の伸び率

2017年1～9月における鉱工業生産は、前年同期比37.4%増の9兆4,000億トウグルクとなった。37.4%の増加は、主に鉱山業の生産高が2兆1,000億トウグルク増となったことによる。このうち石炭の採掘高は前年同期比1兆1,000億トウグルク増加となった。

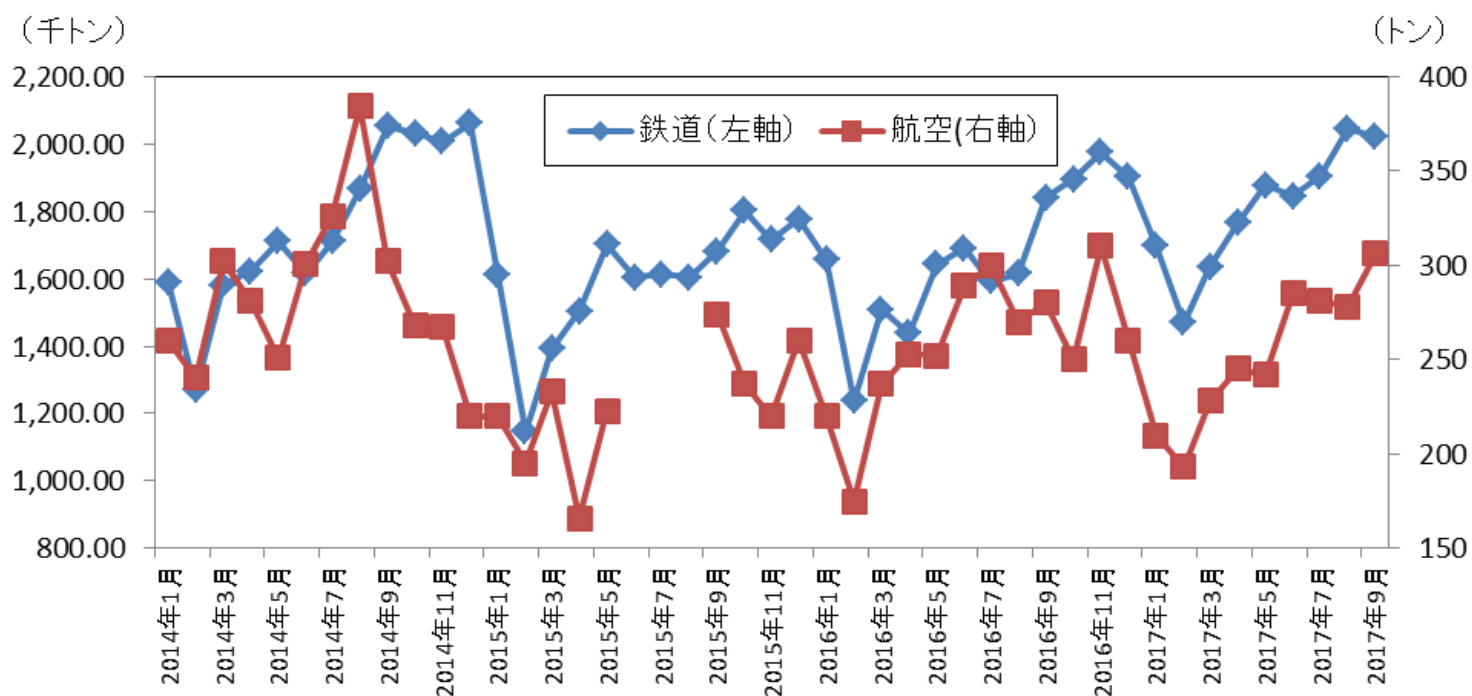


出所: 国家統計局

注: 2017年1～9月は速報値

6.貨物輸送量

2017年1～9月における鉄道輸送量は、前年同期比14.5%増(210万トン増)の1,626万トン、輸送額は22.0%増の3,850億トウグルクに達した。航空輸送量は、前年同期比0.5%減の2,268トンだった。

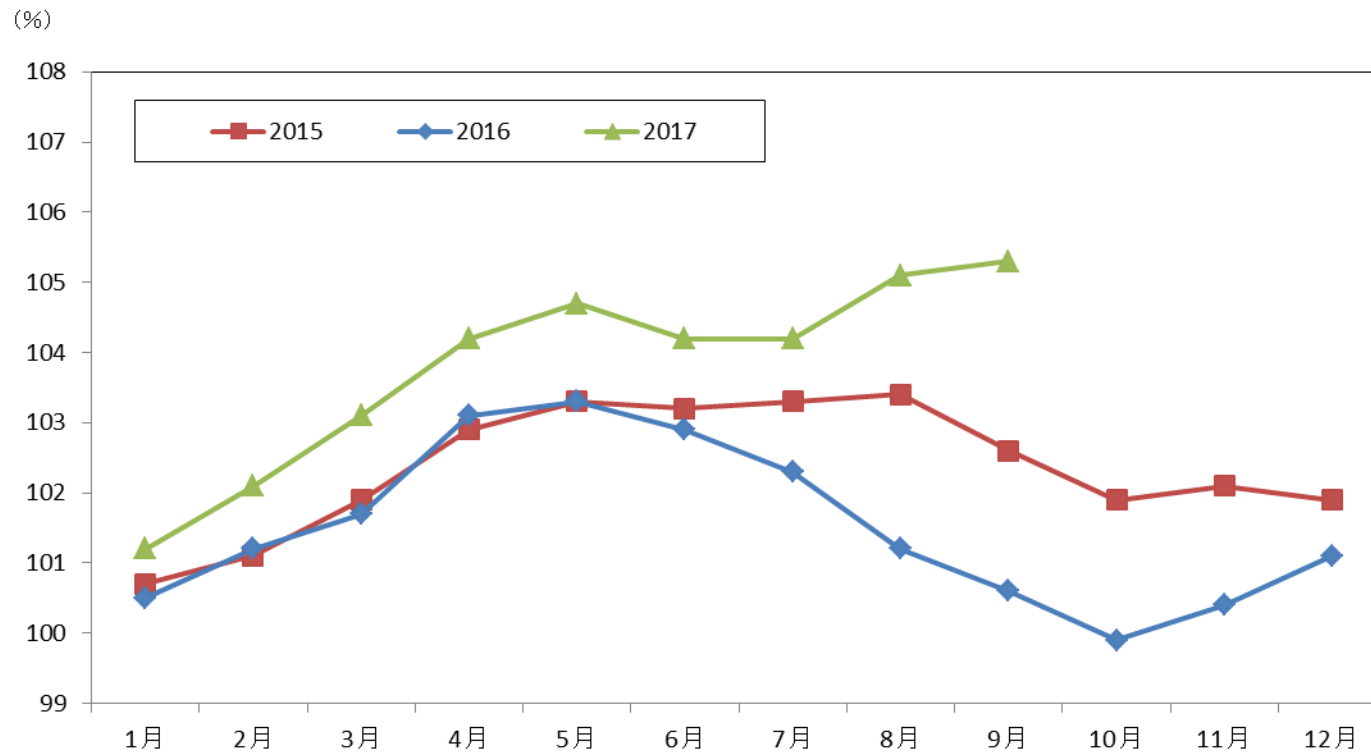


出所: 国家統計局

注: 2017年1～9月は速報値

7.物価(CPI)

2017年9月のCPI(全国)は前年同期比5.8%上昇、前年末比は5.3%上昇した。主な要因は交通(10.4%)、食品・飲料(7.5%)、光熱費(7.4%)の価格上昇であった。

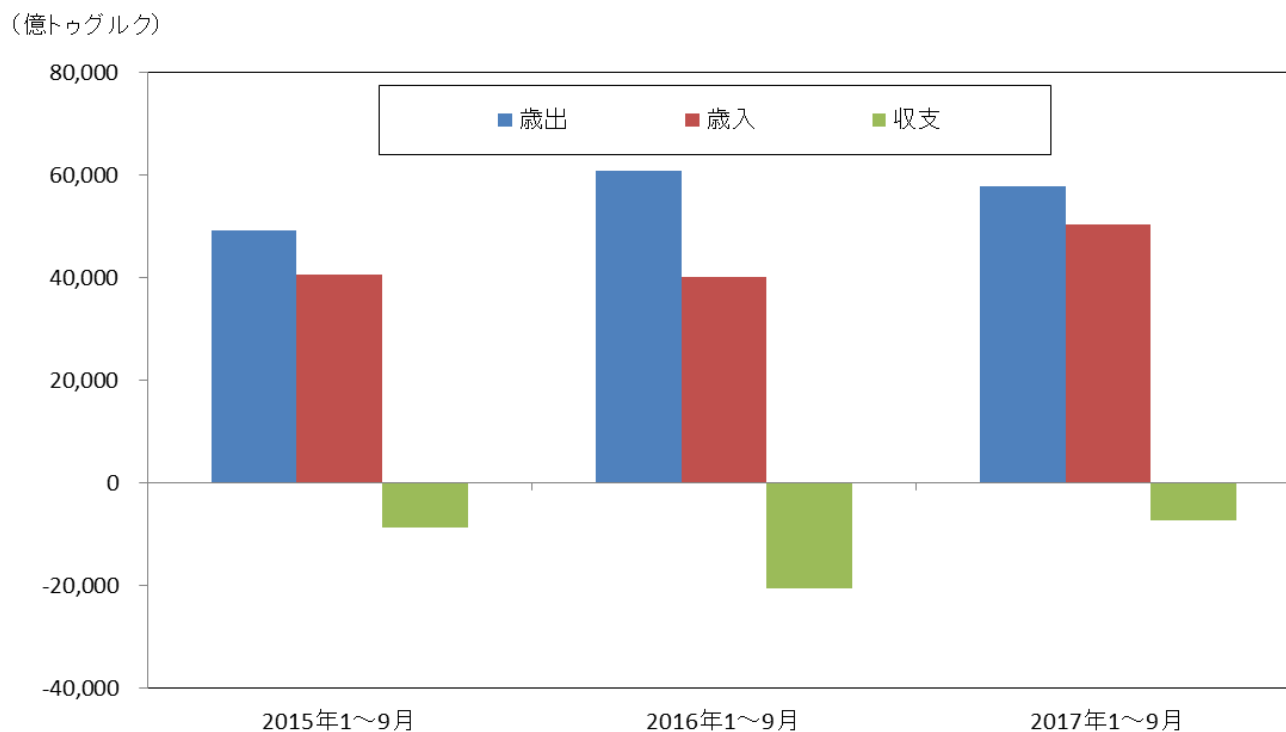


出所: 国家統計局

注: 前年末を100%とする指数

8.歳入・歳出伸び率の推移

2017年1～9月における政府の歳出は、5兆7,730億トウグルク、歳入は5兆351億トウグルクとなった。財政赤字は、7,379億トウグルクとなり、前年同期比1兆3,138億トウグルク減少した。

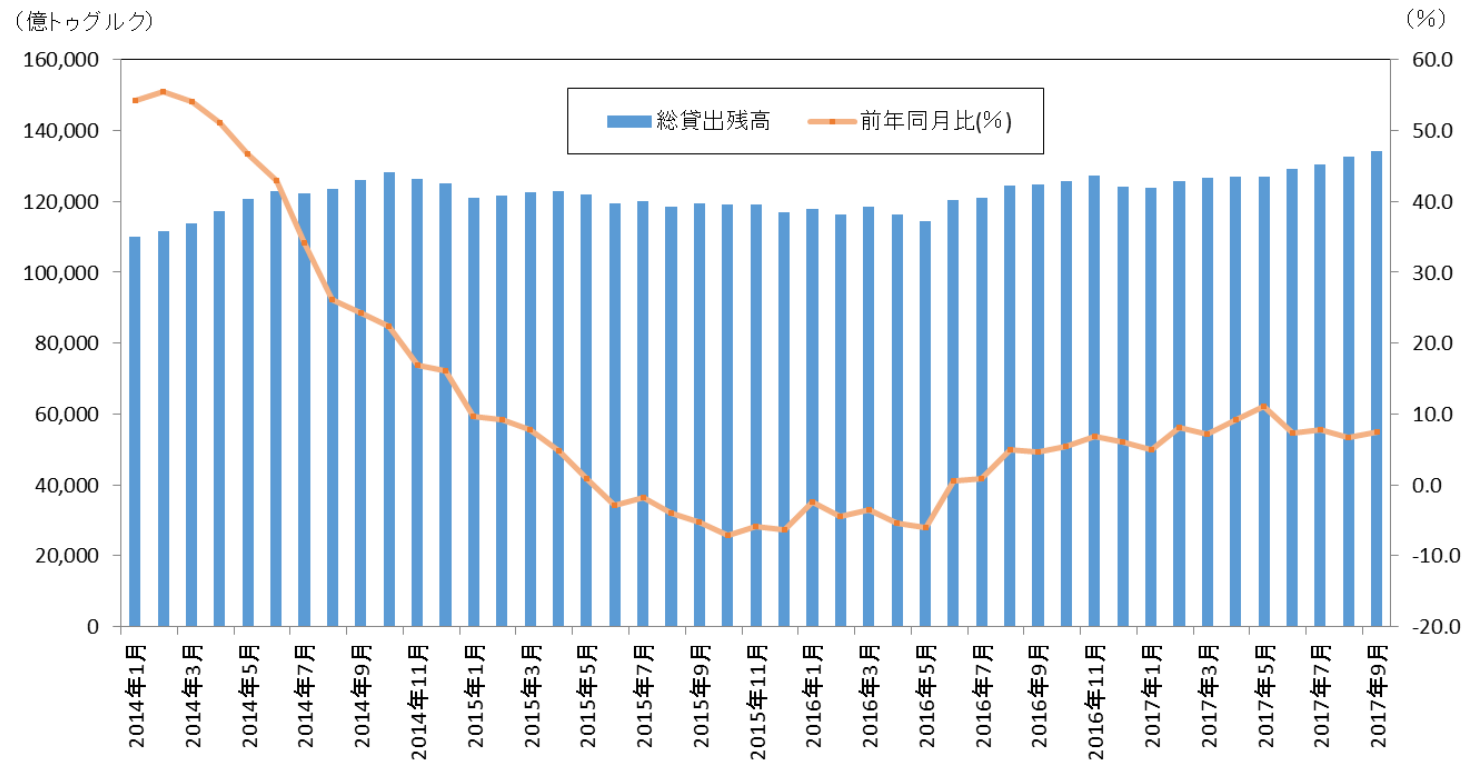


注: 2017年1～9月は速報値

出所: 国家統計局

9.貸出残高

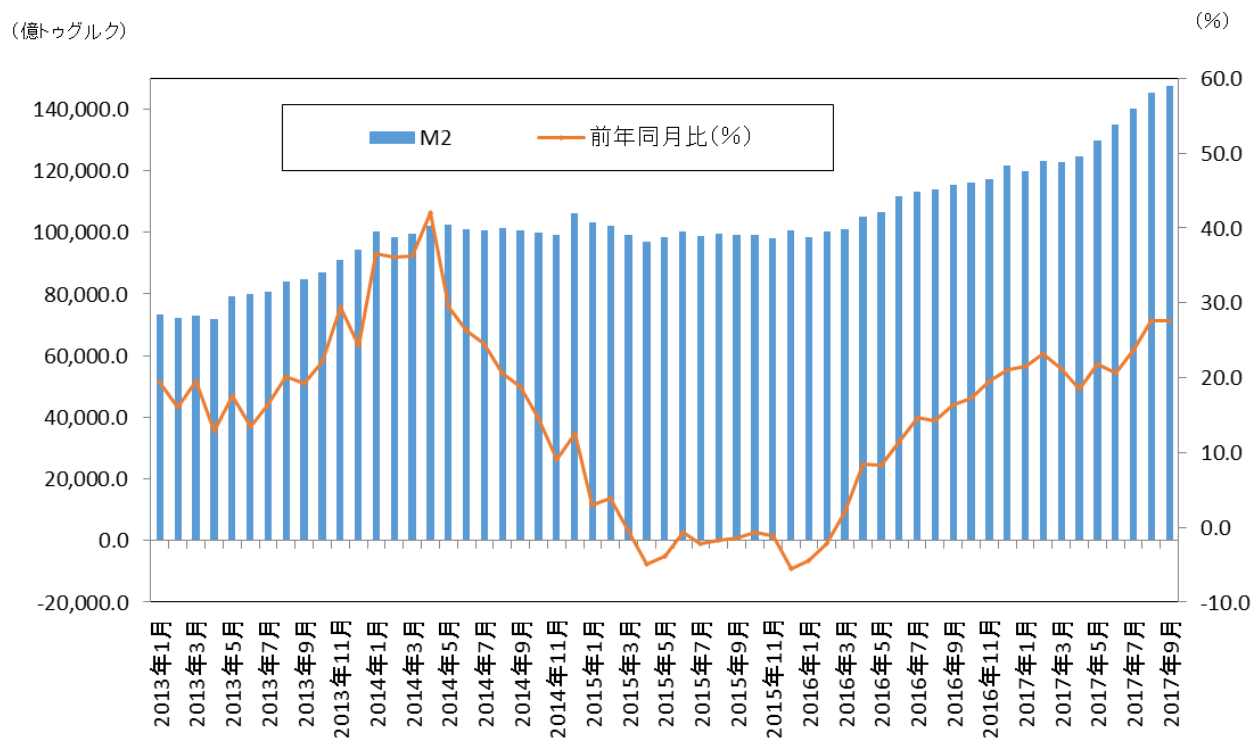
2017年9月における総貸出残高は、前年同月比7.4%増の13兆4,214億トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

10.M2の推移

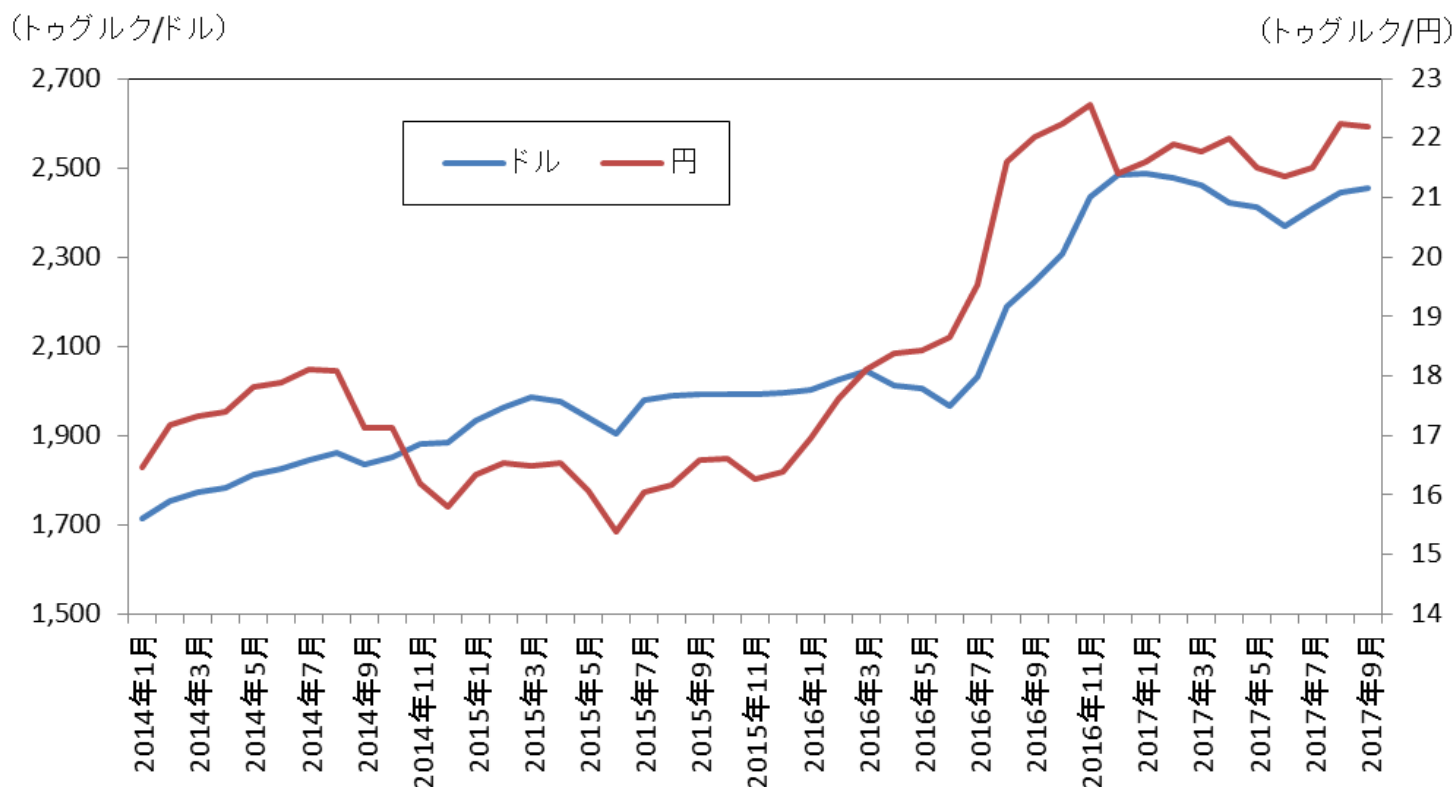
2017年9月末におけるマネーサプライ(M2)は、前年同月比27.7%増の14兆7,497億トゥグルクだった。M2は、2016年3月に前年同月比でプラスに転じて以降、19カ月連続でプラスの伸びを維持している。



出所: モンゴル銀行

11.対ドル・対円の為替レート

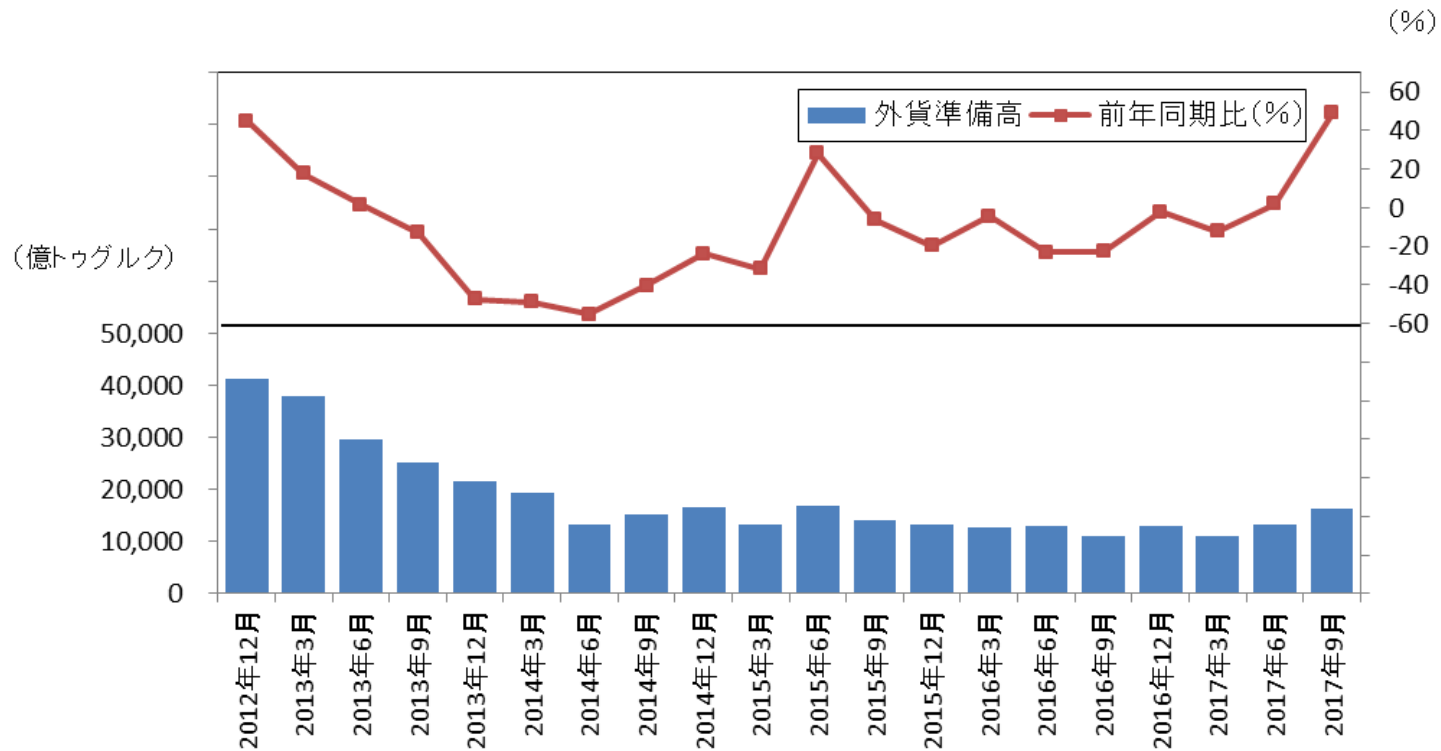
2017年2月以降ドル安傾向が続いていたが、7月からドル高傾向に転じ、9月には1ドル2,454トゥグルクまで上昇した。



出所: モンゴル銀行

12.外貨準備高

2017年9月末時点におけるグロス外貨準備高は、前年同月比48.9%増の16億2,706万ドルとなった。



出所: モンゴル銀行

13.主要輸出入品目

2017年1～9月の主要輸出品目のうち、石炭の輸出が前年同期比3.4倍と大きく増加した。輸入品目では、石炭のトラック輸送等の増加を背景にディーゼル燃料の輸入額が99.6%増となった。

(単位：100万ドル)

品目		2015年1～9月	2016年1～9月	2017年1～9月	前年同期比
輸出		3,540.9	3,332.4	4,582.9	37.5%
	鉱物	2,798.8	2,411.4	3,649.9	51.4%
	石炭	432.9	509.8	1,730.2	3.4倍
	卑金属およびその製品	56.9	61.0	75.1	23.2%
	皮革および毛皮並びにこれらの製品	23.8	18.2	18.3	0.7%
	生地およびその製品	262.3	252.9	291.4	15.2%
	石、人造石、貴金属および宝石	286.8	402.0	404.0	0.5%
輸入		2,856.7	2,448.0	3,130.8	27.9%
	鉱物	717.6	502.6	737.6	46.8%
	ガソリン	208.5	139.4	184.2	32.1%
	ディーゼル	288.4	161.9	323.1	99.6%
	自動車およびその部品	279.5	315.0	450.0	42.8%
	機械器具、電気製品	568.1	502.5	639.3	27.2%
	食料品	238.6	226.7	270.2	19.2%

出所：国家統計局

14.主要輸出相手国

2017年1～9月における主要輸出相手国のうち、輸出金額で1位の中国は前年同期比45%増、構成比は86.7%(同4.4ポイント拡大)となった。2位の英国は98.0%増で、構成比は9.9%となった。

国名	2015年1～9月		2016年1～9月		2017年1～9月		
	金額 (千ドル)	構成比 (%)	金額 (千ドル)	構成比 (%)	金額 (千ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	3,540,921	100.0	3,332,395	100.0	4,582,872	37.5	100.0
中国	2,996,034	84.6	2,741,315	82.3	3,974,693	45.0	86.7
英国	229,661	6.5	230,172	6.9	455,721	98.0	9.9
ロシア	58,609	1.7	42,312	1.3	46,768	10.5	1.0
イタリア	30,279	0.9	25,404	0.8	32,325	27.2	0.7
シンガポール	18,311	0.5	12,403	0.4	13,326	7.4	0.3
日本	14,339	0.4	9,325	0.3	9,328	0.0	0.2
ドイツ	8,415	0.2	39,047	1.2	9,019	△ 76.9	0.2
韓国	13,489	0.4	7,732	0.2	6,432	△ 16.8	0.1
米国	57,044	1.6	4,684	0.1	6,287	34.2	0.1
フランス	5,131	0.1	6,814	0.2	4,954	△ 27.3	0.1
インドネシア	1,063	0.0	1,890	0.1	3,188	68.7	0.1
その他	108,547	3.1	211,296	6.3	20,830	△ 90.1	0.5

注：2017年1～9月は速報値

出所：国家統計局

15.主要輸入相手国

2017年1～9月における輸入総額は27.9%増加した。主要輸入相手5カ国の内、第2位ロシアからの輸入が前年同期比46.4%増と最も伸びが大きかった。日本は、29.4%増で3位だった。

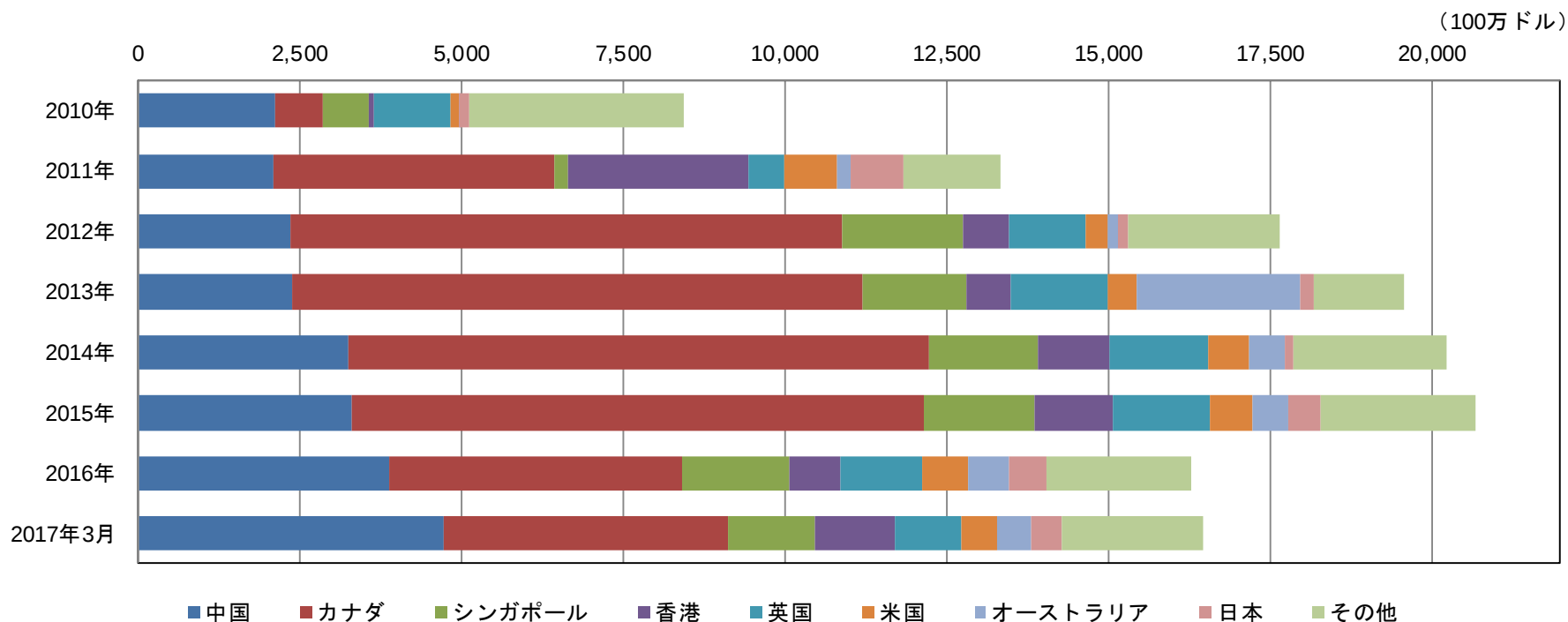
国名	2015年1～9月		2016年1～9月		2017年1～9月		
	金額 (千ドル)	構成比	金額 (千ドル)	構成比	金額 (千ドル)	伸び率 (%)	構成比
合計	2,856,709	100.0	2,448,003	100.0	3,130,772	27.9	100.0
中国	1,058,708	37.1	820,541	33.5	1,014,596	23.6	32.4
ロシア	766,282	26.8	615,448	25.1	901,026	46.4	28.8
日本	213,567	7.5	218,585	8.9	282,742	29.4	9.0
米国	88,428	3.1	112,594	4.6	151,567	34.6	4.8
ドイツ	202,298	7.1	152,231	6.2	146,130	△ 4.0	4.7
韓国	96,382	3.4	87,705	3.6	89,761	2.3	2.9
イタリア	25,695	0.9	23,804	1.0	34,132	43.4	1.1
ポーランド	27,994	1.0	26,795	1.1	34,087	27.2	1.1
ベトナム	21,499	0.8	28,533	1.2	29,427	3.1	0.9
マレーシア	27,962	1.0	28,912	1.2	28,970	0.2	0.9
オーストラリア	13,347	0.5	15,880	0.6	27,291	71.9	0.9
カザフスタン	8,634	0.3	14,605	0.6	26,590	82.1	0.8
インド	21,188	0.7	21,483	0.9	24,919	16.0	0.8
タイ	25,268	0.9	22,069	0.9	22,458	1.8	0.7
トルコ	21,810	0.8	18,679	0.8	21,834	16.9	0.7
その他	237,648	8.3	240,141	9.8	295,244	22.9	9.4

注：2017年1～9月は速報値

出所：国家統計局

16.主要国・直接投資残高

2017年3月末の直接投資残高は、2016年12月末比1.19%増の164億7,197万ドル。主要国別では、中国、カナダ、シンガポール、香港、英国の5カ国・地域からの直接投資が約127億ドルで、全体の77.22%を占めている。



出所：モンゴル銀行

17.主要国・地域別投資企業数

モンゴル政府・投資局によると、2015年8月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万3,326社。このうち、中国が6,549社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,333社)、ロシア(860社)、日本(557社)、米国(305社)等の順となっている。

注：2015年8月から更新されていない

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(平成29年版(2016年10月現在))によると、日本企業の支店開設数：支店1社、駐在員事務所53社、現地法人化した企業等数：315社であった。

18.主要業種別投資企業数

2015年8月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,312社で全体の7割を占める。このほか、鉱業(416社)、エンジニア施設・建築材料生産(399社)、観光(318社)、軽工業(190社)、食料品生産(182社)、家畜産業の原料加工業(158社)、輸送(134社)、通信(110社)等となっている。

注：2015年8月から更新されていない

19. 日本からの輸入品の販売事例

会社概要



会社名:	AMUULAI Co., Ltd
代表取締役社長:	Ariunzul Chuluunbaatar
所在地:	Etugen Bldg 14-04, Sukhbaatar district 6 th khoroo, Ulaanbaatar-46, Mongolia Tel: 976-11-311803 Fax: 976-11-311751
創業:	1999年9月
設立:	2002年8月
資本金:	10 Billion MNT (4 Million USD, 1USD=2460MNT)
事業内容:	Import and sale of Japanese cosmetics
従業員数:	75 (as of September 19, 2017)

- 2002年に設立されてから中国、ロシア、韓国、日本からの輸入化粧品やファッション品の販売チェーンを展開している貿易・小売会社。
- 現在、全国に32店舗を構える。日本からは、32ブランド、3,500種以上のスキンケア・ボディ・ケア、美容サプリメント、メイクアップ化粧品ブランドを輸入している。
- 比較的低価格の“MILD Cosmetics”チェーンを展開してきたが、よりラグジュアリー商品を扱う COSEブランドを新規に展開中。



写真出所: Amulai co., Ltd

20. モンゴル企業の動向事例

企業名 : iTools

創業 : 2011年

事業内容 : ウェブホスティング(12万8千局)、物理・
仮想サーバー(3万1,500局)、データセンター管理(4
センター)、クラウド・マイニング

売上 : 100万ドル(ウェブホスティングのみのデータ)

海外のユーザー : 14カ国、8,000名

新規株式公開(IPO) : 2017年9月

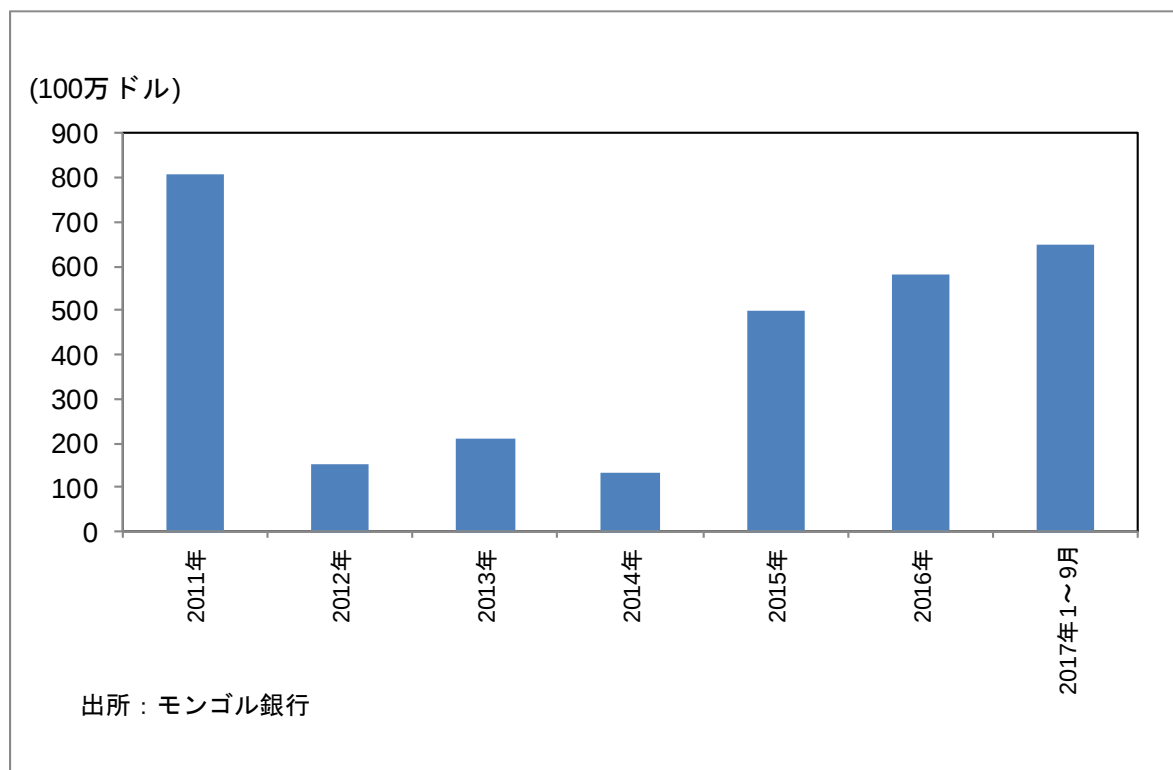
- iTools社は、モンゴルの証券取引所に登録された後、総株式の38.86%に当たる1,340万株を新規公開し、その買い付け注文を11月1日から10日にかけて受け付けた。
- 今回のIPOは、データセンター事業を拡大し、ダラハン市にて国際規格TIERIIIを満たしたモジュラー・データ・センターを開発するための資金調達のため。
- 同社のIPOには、個人・法人合わせて、1,072の投資家が参加し、同社は公開株式の3倍に当たる3,978万6,996株の買い付け注文を受けた。
- そのうち、100万トゥグルクまでの注文はすべて受け付け、それ以上の注文額に対しては買い付け金額に応じて割り当てた。
- 39億トゥグルクという注文額は、モンゴルの証券取引史上最大の注文額である。IPOが成立したことで、第2証券取引所での取引が11月16日からスタートした。

出所 : モンゴル証券取引所

21. 日本からの直接投資

2017年9月末における日本からの直接投資は、6億4,800万ドルとなった。日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。

主要投資企業名（順不同）



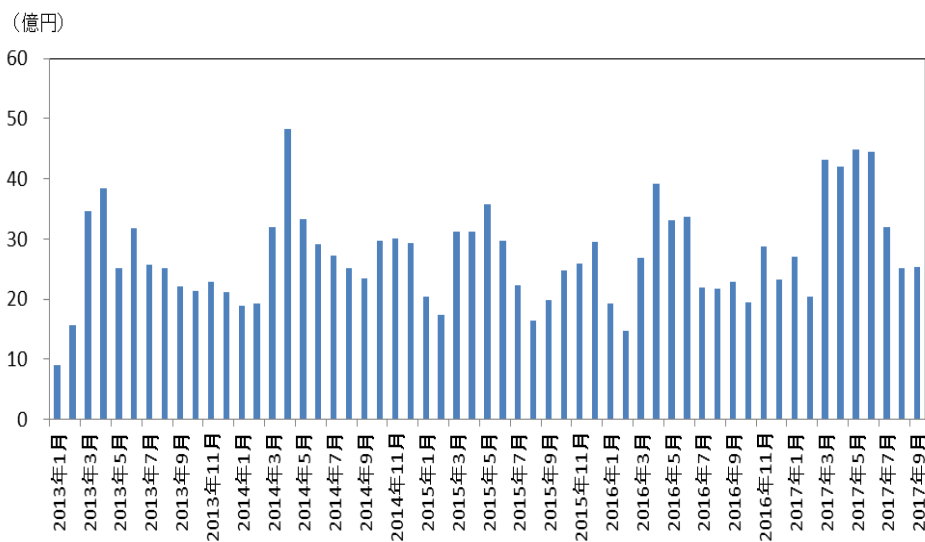
KDDI
澤田ホールディング
賛光精機
丸紅
双日
三菱商事
住友商事
スルガコーポレーション
会沢高圧コンクリート
ネクサス
旭栄工務、
いずみガーデン
東海運
SBエナジー
KPMGあずさ監査法人
サイサン
日産自動車
オリックス

出所：[日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

22. 日本との貿易概況

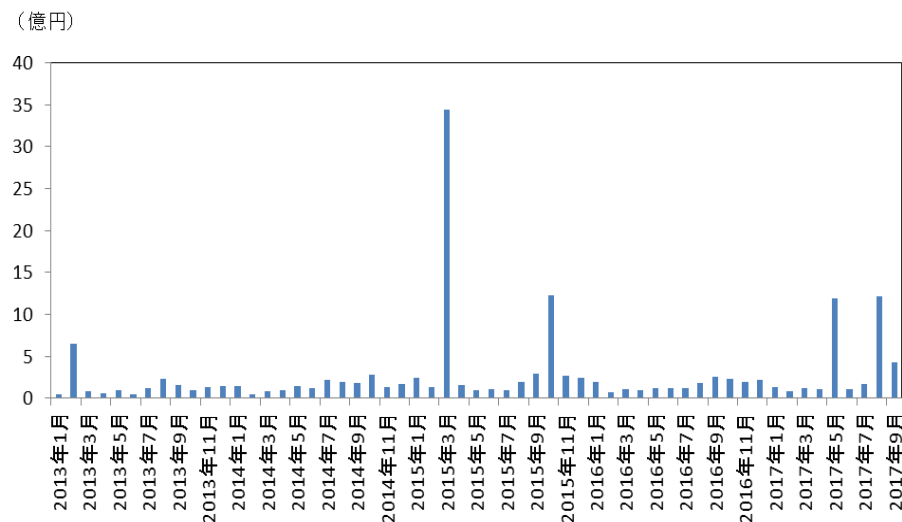
貿易額について日本側の統計をみると、2017年1～9月の輸出は前年同期比30.4%増の304億1,301万円、輸入は前年同期比2.8倍の35億2,941万円となった。

日本からの輸出額



出所: 財務省貿易統計(日本)

モンゴルからの輸入額



出所: 財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20170087>

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
TEL：03-3582-5181
E-mail：ORG@jetro.go.jp

禁無断転載